2023年度事業報告

1. はじめに

障害者差別解消法・ヘイトスピーチ解消法・部落差別解消推進法の人権三法が施行され、7年が経過しましたが、まだまだ人権を取り巻く現状は厳しいものがあります。子どもや高齢者・障がい者に対する虐待や事件が多く報じられ、大阪は児童虐待にかかる通告件数が9年連続で全国ワースト1位となっている現状や依然として存在する在日外国人に対するヘイトスピーチの問題、さらに、インターネットの書き込みの中で人権を無視した差別落書等が後を絶ちません。こういった中、泉佐野市においては、「泉佐野市における部落差別撤廃とあらゆる差別をなくすことをめざす条例」を30年ぶりに改正し令和5年4月1日から施行されたことに伴い条例の周知を図るとともに、市民に人権問題を身近に感じてもらうため人権啓発活動を行ってまいりました。

2023年度事業につきましては、以下のとおり報告いたします。

今後とも引き続き、人権三法の周知や課題解消にむけ関係機関と連携を図り、部落問題をはじめとするあらゆる人権問題の解決をめざし、人権問題の正しい理解と認識を図るとともに、差別のない人権社会づくりに寄与してまいります。

2. 公益目的事業（公1）

（1）人権相談事業

目的：生活上の課題を有する市民の方に対し、適切な助言や情報提供並びに事案に応じた適切な機関の紹介、取り次ぎを行い課題解消に努める。

2023年度、相談件数と相談の内訳は、以下の通りです。

月別相談件数

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
件数	1	1	3	2	2	2	3	2	3	2	1	3	25

相談の内訳（相談1件であっても、相談内容により複数の分野に計上）

（内訳）

A 福祉・健康		B 教育・保育		C 就職・就労		D 人権		E その他	
区分	件数	区分	件数	区分	件数	区分	件数	区分	件数
障害・病気	3	子育て	1	就職	10	人権	0	住居問題	0
生活困窮	3	保育園児	3	資格取得	4	虐待	0	年金手続	1
医療(介護)	2	奨学金	2	就労環境	0	結婚	0	行政相談	3
計	8		6		14		0		4

(2) 人権国際交流事業

目的：諸外国の人々に対し、互いに異なる言葉、生活習慣、文化等を学び、相互理解を図るとともに、在日外国人の人権について認識を深める。

○「識字・日本語教室学習会Ⅲ」

新型コロナウイルス感染症及びインフルエンザ感染拡大のため中止

(3) 人権啓発・講習事業

目的：会員及び市民を対象とした講習、研修を実施し、人権問題について正しい理解と認識を深めるとともに、それぞれの地域において市民啓発に努める。

○「学習と総会」

日時：2023年6月24日 泉の森小ホール ☆参加者数180名
一般市民を対象に、2024年春に開校の夜間中学校についての理解を深めるための学習会として、講師に笑福亭鉄瓶さん(落語家)を招き、「ノンフィクション落語～生きた先に～」をテーマに講演会を行った。その様子は、泉佐野市の行政情報番組「さのテレ」で放送されることにより人権啓発を実施した。

○研修会・研究集会・学習会への参加

大阪府内外において開催される各種研修会、講習会に積極的に参加して人権問題への正しい理解と認識を深め、今後の啓発活動に活かすとともに、さまざまな人々との交流や交換を図った。

○まなび講座

日時：2023年8月1日 泉の森小ホール及びリモート ☆参加者数300名
「発達障がい」の理解と認識を深める為、今年度は会場開催及びオンライン開催で実施した。講師に米田和子さん(NPO 法人ゆまにて まなびの場代)「学校におけるほめを実践するティチャーズ・トレーニング」 濱野友希さん(日本学術振興会特別研究員)「学ぶとはどういうことか?」定藤規弘さん(立命館大学・総合科学技術研究機構教授)「ほめと well-being 脳科学からのアプローチ」を招き、それぞれのテーマで講演を行い、発達障がいの特性や学び等について学習を行った。

日時：2024年2月29日 旧下瓦屋人権文化センター ☆参加者数70名
第三中学校の人権学習として、水平社宣言の書かれた屏風を背景に、地元の産業である「しんせん」のビデオを視聴しながら、地図と照らし合わせて地域の歴史などの話を聞くことで、これまでの人々の生活を知り、差別への忌避意識の解消に向けた学習会を行った。

日時：2024年3月8日 旧下瓦屋人権文化センター ☆参加者数60名
長坂小学校6年生を対象に、水平社宣言を通じて人権問題をひもとき、不条理につ

いて考えながら、小学生からの質疑を行い、先生と子どもの両者において、地域から感じる人権文化について学んだ。

日時：2024年3月15日 旧下瓦屋人権文化センター ☆参加者数70名
講師に大阪人権博物館館長であり水平運動の研究者である朝治武さんを迎え、「昭和100年」を控えた近代から現代へと至る「歴史」の意義を人権の視点で理解するため、人権資料の保存と活用についての研修を行った。

○泉佐野市青年問題研究集会

日程調整により開催できず。

○泉佐野・熊取・田尻事業所人権連絡会研修会

日時：2023年5月17日 泉の森レセプションホール ☆参加者数60名
あらゆる人権問題の解決のため、事業所の立場から公正な採用選考と企業内研修の充実のため、有限会社ビジネス・パートナー・オフィス代表取締役の桑野里美さんを講師に職場におけるパワーハラスメント防止について、「感情コントロール～アンガーマネジメント～」と題する講演を行った。

日時：2023年12月7日 泉の森レセプションホール ☆参加者数50名
あらゆる人権問題の解決のため、事業所の立場から公正な採用選考と企業内研修の充実のため、講師に貝塚市人権協会会長であり現在も精肉店と太鼓屋を営む北出 昭さんから「ある精肉店のはなし～命をいただき、いのちは生きる～」についての講演をいただいた。

あらゆる人権問題の解決のために、事業所の立場から公正な採用選考と企業内研修の充実のため、泉佐野・熊取・田尻事業所人権連絡会の会員及び公共施設に啓発チラシを配布し事業所人権連絡会としての人権啓発を行った。

○機関紙「きずなNo.60」

日時：2023年12月1日発行 市内全戸配布 30000部
泉佐野市人権を守る市民の会と一緒にいった事業を具体的に市民に周知し、人権問題への関心を深め、活動参加を呼び掛けるとともに、本年度は、「学習会の報告」と小中学生による人権作文の最優秀賞受賞作品を掲載した。

(4) 歴史研究事業

目的：部落問題について、正しい理解と認識を深めるためには、被差別部落の歴史を学ぶとともに、被差別部落の歴史をとおして、人権問題について正しい理解と認識を深める。

日時：2023年9月29日 旧陸軍佐野飛行場跡 ☆参加者数15名
旧陸軍佐野飛行場跡をフィールドワークし、飛行場の建設によって埋め立てられた池や稲倉池ダムの工事に関わった人々の労苦から、戦争と平和、人権について学んだ。

日時：2023年11月3日 下瓦屋地域周辺 ☆参加者数12名
下瓦屋地域圃場整備周辺のフィールドワークを通じて、地元農業の歴史や人権の関わりを学んだ。

(5) 地域人権啓発交流事業

目的：市内全域、市民を対象として、人権問題について正しい理解と認識を深めるため、文化的行事や、スポーツの集い等を通じて、人権啓発・住民相互交流を図る。

○人権啓発チラシの配布

あらゆる人権問題について取り組んでいることや、部落問題をはじめあらゆる人権問題についての正しい理解と認識を深めてもらうため、南部市民交流センター、近隣の町会及び公共施設等に人権情報のチラシを配布した。

○人権パネル展

幅広く市民の方々と共に人権問題等に取り組んでいくため、公共施設において人権パネル展を開催した。

- ・南部市民交流センター 昭和初期の被差別部落での生活や環境、労働面のパネル展
(2023年8月1日～10日) ☆参加者数200名
- ・生涯学習センター 来館者向けのパネル展「子どもたちにやさしい地球を残そう」
(2023年11月24日～26日) ☆参加者数1830名
- ・佐野公民館 来館者向けのパネル展「子どもたちにやさしい地球を残そう」
(2023年11月28日～30日) ☆参加者数280名
- ・長南公民館 来館者向けのパネル展「子どもたちにやさしい地球を残そう」
(2023年12月1日～3日) ☆参加者数270名
- ・日根野公民館 来館者向けのパネル展「子どもたちにやさしい地球を残そう」
(2023年12月5日～7日) ☆参加者数210名
- ・北部公民館 来館者向けのパネル展「子どもたちにやさしい地球を残そう」
(2023年12月8日～11日) ☆参加者数310名

○ぼちぼちサロン

日時：2023年5月13日 生涯学習センター ☆参加者数12名
「人との接し方」をテーマに、アサーティブトレーニングを行いながら、人を励まし自分も元気になる方法や、訪問看護等の社会資源の活用も含めた生き方について意見交換をしながら交流を行った。

日時：2024年3月9日 泉佐野市立社会福祉センター ☆参加者数12名

「こころのバリアをなくすために」をテーマに、現代の社会環境の中で心を安定させる方法や考え方について意見交換をしながら交流を行った。

日時：2024年3月30日 泉佐野市立社会福祉センター ☆参加者数12名
精神保健人権市民講座「地域で心の病を持つ方を支える精神科訪問看護」について、N・フィールド訪問看護ステーションデューン阪南の西友視部長さんを講師に、精神疾患や心のケアを必要とする方にトータルサポートを行う際の、対応の仕方やあり方について話を聞き、あらゆる事情を抱える当事者への理解を深めた。

○反戦の夕べ

日時：2023年8月5日 旧下瓦屋人権文化センター ☆参加者数250名
反戦と平和を訴えるため、反戦の夕べを開催した。青年による盆踊りや模擬店等の開催、保育園児による太鼓披露を行い、地域内外の人々と交流を深め、戦争は最大の人権侵害であることを学び、平和、人権の尊さを訴え、組織団体の代表による平和アピールを行った。

○オークいきいき祭

日時：2023年10月14日 南部市民交流センター ☆参加者数300名
センター利用者及び市民との幅広い交流を行うため、うまいもんテラスの実施や、各クラブの方々や識字生の人権作品等の展示や日頃の成果を発表し、また、体育館では、施設を開放してレクリエーションや体験教室を行って世代をこえて交流を深めた。

○北部市民交流センターまつり

日時：2023年10月21日 北部市民交流センター ☆参加者数600名
センター利用者及び市民との幅広い交流を行うため、舞台パフォーマンス（太鼓演奏、沖縄三線クラブ発表、太極拳クラブ発表、クイズラリー、クイズ大会・抽選会等）や、クラブ・サークルの体験・展示、模擬店の出店を行い、今回、パープルリボン・オレンジリボンの啓発活動や「泉佐野市における部落差別撤廃とあらゆる差別をなくすことをめざす条例」改正のパネル展示を行い人権意識の高揚と交流を図った。また、模擬店を出店し、ふれあい交流を深めた。

○泉佐野市人権のつどい

日時：2023年12月2日 泉の森小ホール ☆参加者数320名
人権週間事業として、市、教育委員会との共催で、市民及び市内の児童・生徒・保護者とともに人権問題について学習し、日常生活に活かしてもらうことを目的として開催した。第1部、音楽のつどいは、河内音頭の家元である河内家菊水丸さんによる「河内音頭でうたう人権」を講演。
第2部は、小中学生から応募のあった人権作品の中から、最優秀作品を子どもたち

が発表を行い、作品を通して人権問題に対する関心を深めてもらうとともに、市民、児童生徒、保護者との交流を深めた。

また、人権作品は泉の森小ホールでの当日展示と、泉佐野市役所市民ロビーにおいても展示を行い、当日の様子は泉佐野市の行政情報番組「さのテレ」で放送されることにより人権啓発を実施した。

○第25回泉佐野市人権研究集会

日時：2024年3月3日 泉の森大ホール ☆参加者数600名

泉佐野市差別撤廃条例を活かしながら「すべての人の人権が守られる泉佐野市」を実現していく為、人権研究集会（izumisano じんけん・わくわくスタジアム）を開催。フリーアナウンサーのいがらしあみさんが聞き手となりながら、広瀬俊朗さん（元ラグビー日本代表キャプテン）による講演を行った。併せて会場内では、物品販売としてわくわくミニ商店街や「大阪空襲」「パレスチナ・イスラエル」などの人権平和パネル展を実施した。

○市民の役員・あいあいクラブ会員合同学習会

市民の会の役員、あいあいクラブ会員及び一般市民も参加し合同で学習会を開き、人権問題についての今日的な学習をするとともに、会員、役員、市民の交流を深め、今後の啓発活動に活かすことを目的に、人権を考える連続映画会（全2回）と学習会（全1回）を実施した。

日時：2023年8月27日 生涯学習センター ☆参加者数82名

人権を考えるための連続映画として「ある精肉店のはなし」を上映し、貝塚市で牛の解体と精肉店を営んでこられた北出昭さんから、命と向き合い食することに対する思いや、差別のない社会の実現をめざし、自分が自分として生きるという話を聞いた。また、太鼓のパネルや革の展示も行った。

日時：2023年10月22日 生涯学習センター ☆参加者数82名

人権を考えるための連続映画として「東京クルド」を上映し、自国から迫害を逃れ、日本で暮らす外国人が、日本での対応によって通常の日常生活を送ることもできず、難民としての認定も救済もされない事実の話や映像を鑑賞することで、外国人の人権について考える機会の提供を行った。

日時：2024年3月6日 泉の森ホールレセプション ☆参加者数33名

一般社団法人「学びパレット」の藤原眞隆さんを招き、「子どもの居場所について一緒に考えませんか」をテーマに講演を行った。

○地区委員会活動

小学校区（13地区）を単位として地区委員会を構成し、各地区それぞれで人権啓発及び交流を図るため、講演会・学習会・住民のふれあい行事等を行った。

・第一地区委員会

・日時：2023年11月20日 各町会

人権啓発資料としてDVD「夕焼け～空も見上げず歩いていた～」（ヤングケアラー）及び「これが私の生きる道～仲間しゅん～」（セクシュアル・マイノリティ）を鑑賞し、質疑応答や意見交換を行った。

・第二地区委員会

・日時：2024年2月1日 市立第二小学校 ☆参加者数600名

2022年度人権作品コンテストに応募された泉佐野市小中学生の優秀作品を校内にパネル展示し、人権標語を掲載したクリアファイルを児童等に配布した。

・第三地区委員会

・日時：2023年11月11日 春日町会館 ☆参加者数16名

DVD、「～外見からはわからない障害・病気を抱える人～「知りたいあなたのこと」を視聴し、市職員の鐘井昭広さんから話を聞いた。

・日新地区委員会

・日時：2023年12月11日 ホテルニューユタカ ☆参加者数38名

「性的マイノリティへの理解」をテーマに、市職員の宗野公保さんを講師に啓発リーフレット「人として生きる47」を使って説明を聞き、参加者との意見交換を行った。

・北中地区委員会

・日時：2023年11月17日 岸和田市・四季まつり ☆参加者数41名

DVD「こんばんは2」を鑑賞し、市職員の本道篤志さんから、2024年春に開講予定の「市立佐野中学校夜間学級」に関する話を聞くとともに意見交換を行った。

・佐野台地区委員会

・日時：2023年5月14日 市立佐野台小学校 ☆参加者数150名

小中学生の人権作品コンテストの受賞作品のパネル展示を行い、啓発リーフレット等の配布を行った。

- ・長坂地区委員会
 - ・日時：2023年11月17日 市立長坂小学校 ☆参加者数240名
第三中学校校区の「和い輪いまつり」に人権啓発コーナーを設置し、参加者が記入した人権メッセージカードを「人権の木」に貼ってもらった。また、メッセージを記入した子どもには輪投げを楽しんでもらった。

- ・日根野地区委員会
 - ・日時：2023年11月17日 市立日根野小学校 ☆参加者数150名
小中学生の人権作品コンテストの受賞作品のパネル展示を行い、人権啓発物品の配布を行った。

- ・大木地区委員会
 - ・日時：2023年11月3日 市立大木小学校体育館 ☆参加者数150名
「大木まつり」に参画し、人権啓発パネルや応募された人権作品のパネルを展示した。また、パープルリボン・オレンジリボンの啓発活動を行いながら、使い捨てカイロやポケットティッシュなどを啓発物品として配布を行うことで、児童及び来場者にも啓発が行えた。

- ・上之郷地区委員会
 - ・日時：2023年11月21日 市立上之郷小学校 ☆参加者数250名
「上小まつり」において、小中学生の人権作品コンテストの受賞作品のパネル展示を行ったところ、当日、給食試食会に参加していた地域住民の方々にもパネルを見てもらう機会が得られた。

- ・長南地区委員会
 - ・日時：2023年7月11日 長南公民館 ☆参加者数39名
地域コミュニティづくりについて、関西学院大学准教授の濱元伸彦さんを講師に迎え「子どもを真ん中にした地域をつくる～組織・団体をこえて～」をテーマに講演をしていただき、地域のコミュニティに携わる地区委員や民生児童委員、各町会からの参加者間で学習会を行った。

- ・末広地区委員会
 - ・日時：2023年11月5日 末広小学校体育館 ☆参加者数300名
自主防災会主催の防災訓練に併せ、「人権パネル展」を実施、宮城県から「震災復興パネル」10枚を展示し、震災のむごさと復興の大変さを知り、防災意識の向上と社会的弱者への思いやりと住民の絆の大切さを感じることで、人権意識の高揚を図った。また、参加者には人権啓発リーフレットや啓発物品の配布を行いアンケートを収集した。

- ・中央地区委員会
 - ・日時：2023年8月19日・20日 葵町公園 ☆参加者数1000名
夏休み期間に「三線の演奏会」「よさこい踊り」などをおしての交流会において、人権パネルの展示、啓発リーフレットの配布を行った。

- ・ヒューマンカップゲートボール大会
 - ・参加者の減少により中止